



都市圏

東京としけん交通だより

～これからのくらしと交通を考える～

特集

“自動車からの転換
～バス、自転車を使えばもっと楽しい～”

交通トピックス

電車内に、自転車持ち込みできます

●日立電鉄: 日立市

毎日9:30～15:00の間、自転車を電車内に持ち込むことができます。1台200円または1日フリー乗車券(900円)を持っていれば無料です。

ちょっとしたお出かけやお買い物、休日のサイクリング等に便利です。

また自動車ではなく、電車と自転車を使うことによって環境保護にもつながります。



ご存知ですが、都市型レンタサイクル

●ねりまタウンサイクル: 練馬区

カード1枚で24時間(大泉学園は午前4時～翌日午前1時20分)利用できる、練馬区が行う貸し自転車事業で、現在、練馬・練馬春日町・東武練馬・石神井公園・上石神井・大泉学園の駅からいずれも徒歩2分以内のところにあります。

定期利用は月額2,000円、1回利用は1日200円、半日100円。



貸出し用自転車



貸出し用のカード

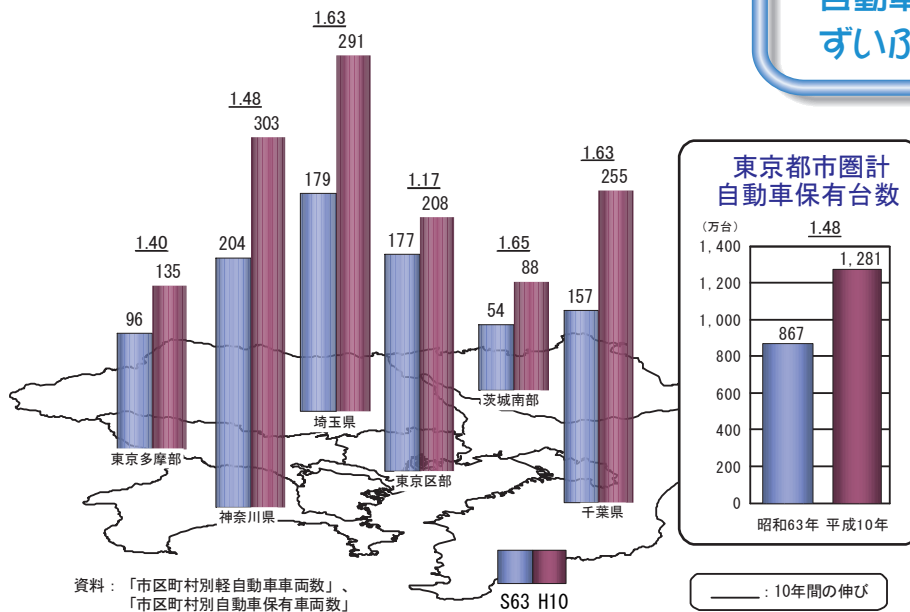


返却の様子

東京都市圏の自動車利用状況

東京都市圏の自動車保有台数

自動車を保有する人は・
ずいぶん増えているのじゃ!!



- 平成10年の東京都市圏の自動車保有台数は約1,280万台で昭和63年からの10年間で50%近くも増加しています。
- 特に、埼玉県、千葉県、茨城南部で60%以上の増加となっています。

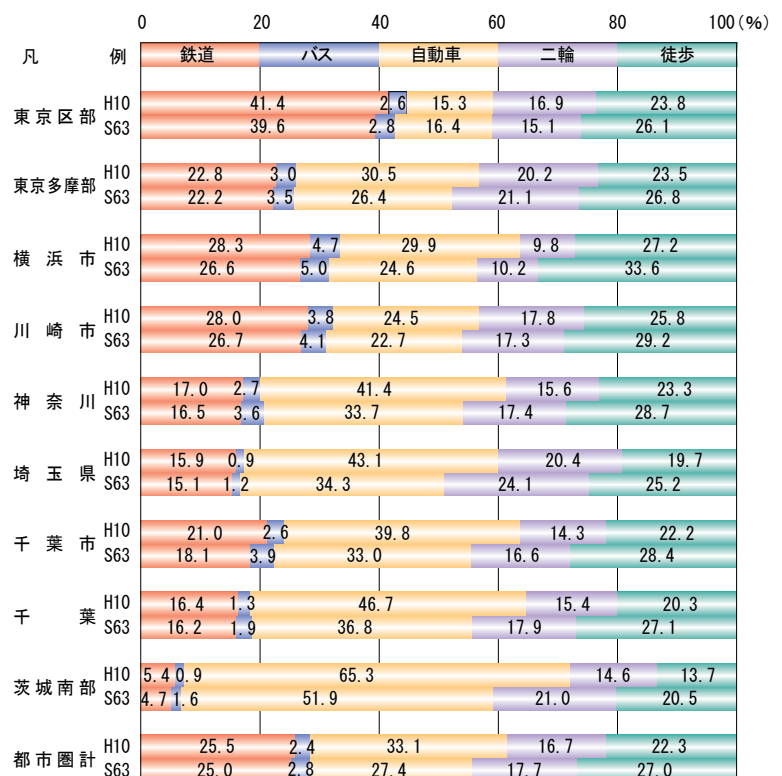
地域別自動車保有台数(乗用車・軽自動車)

利用する交通手段

自動車を利用する人の割合も、
増えているのじゃ!!



- 利用する代表交通手段の割合は、過去10年間で鉄道利用は微増、自動車は約6%の増加、それ以外の手段(バス、二輪車、徒歩)では減少となっています。
- 東京区部と川崎市では鉄道利用の割合が最も高くなっていますが、その他の地域では自動車利用割合が最も高くなっています。
- 千葉(千葉市を除く)及び茨城南部で自動車利用の割合が約10%増加しています。



地域別にみた代表交通手段の構成比変化

※ 裏表紙に専門的な用語の解説をつけています。

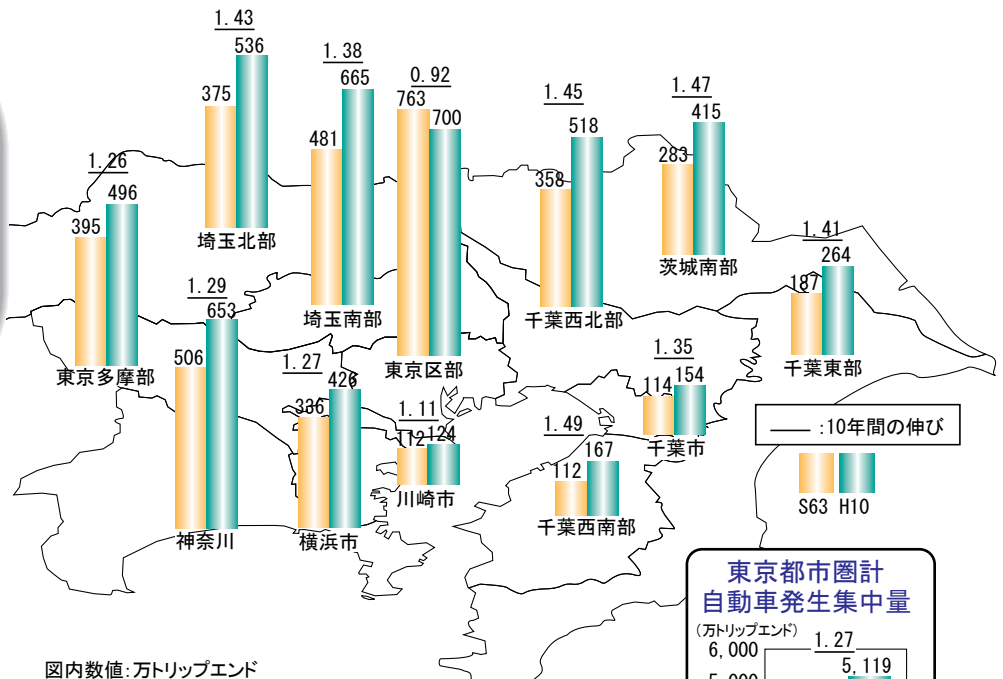
・注) 神奈川: 横浜市及び川崎市を除いた神奈川県。
・千葉: 千葉市を除いた千葉県。

地域別の自動車交通量

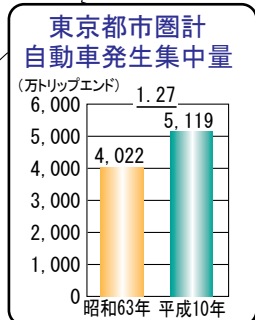


自動車の交通量は都市圏全体で過去10年間に30%近くも増加しているのじゃ!!

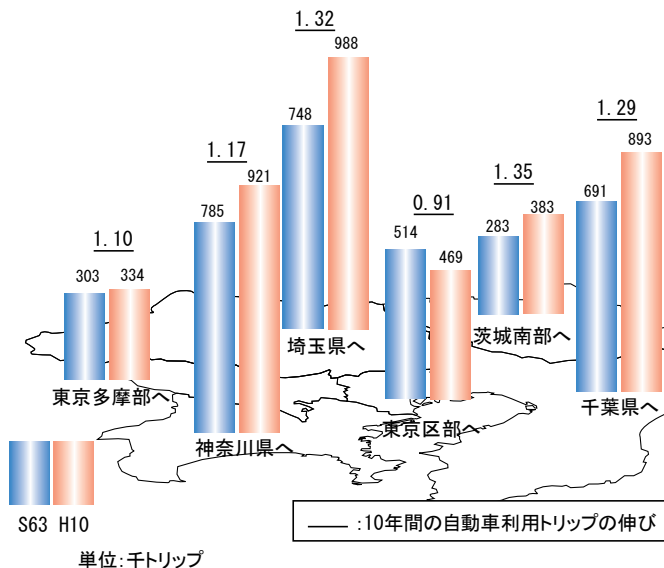
- 東京区部を除く全ての地域で、自動車交通量は大幅に増加しています。



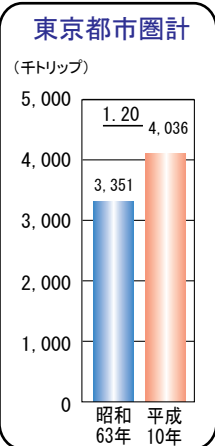
地域別の自動車利用トリップの発生集中量



通勤目的の自動車交通量



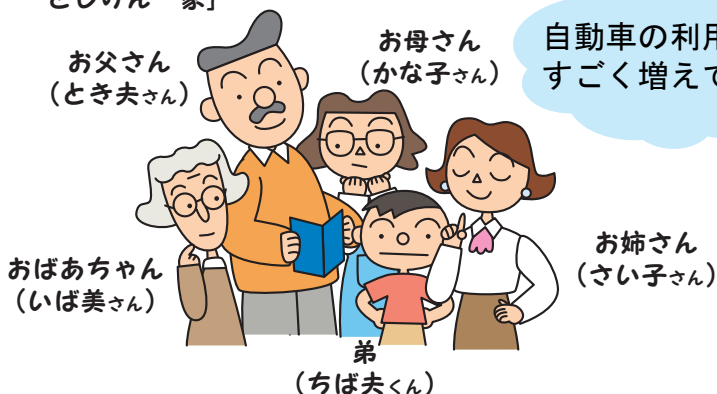
通勤先の地域別トリップ数



埼玉県や千葉県に自動車通勤している人は、約3割も増えているのじゃ!!

- 東京区部への自動車を利用した通勤・目的の交通量は減少しています。一方、埼玉県や千葉県等その他の地域へは1～3割増加しています。
- 東京都市圏全体の自動車を利用した・通勤交通量は20%増加しています。

「としけん一家」



自動車の利用って・すごく増えているのね!!

このままでは、交通渋滞や、環境への影響が深刻になってしまうのじゃ!!





？
 どんどん増えている自動車の利用を減らすにはどんな方法があるのかな？

ふむふむ!! 例えばこんな方法はどうかな!!

- ① バス利用の推進
- ② 短距離移動での自転車利用の促進
- ③ パークアンドライドの推進

平成10年の東京都市圏パーソントリップ調査のデータを使って分析してみるとしよう!!



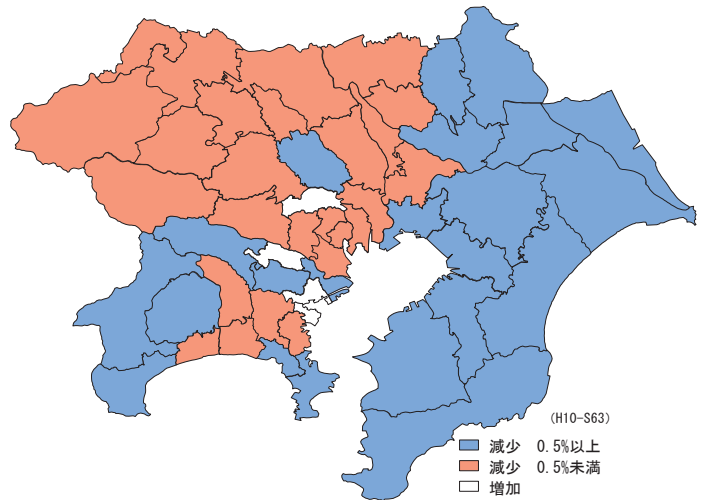
① バス利用の推進



今、バスの利用って・
 どうなっているのかしら？



バスの利用は過去10年間で・
 大きく減少しているのじゃ!!

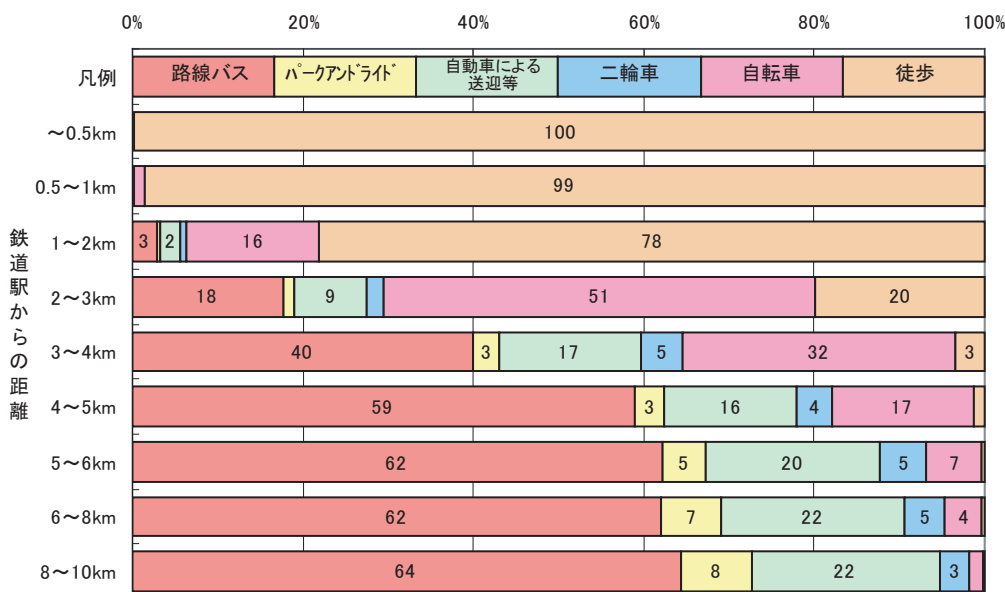
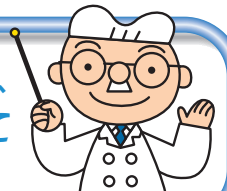


10年間でバス利用の減少率



どんな人たちがバスを・
 利用しているのかしら？

駅から2km以上離れた人たちは、
 バスが重要な交通手段となっ
 ているんじゃ!!



距離帯別の最寄駅までの交通手段構成比

● 駅からの距離が2kmをこえ
 るとバスの利用が多くな
 っていき、4km以上で
 は約6割を占めています。

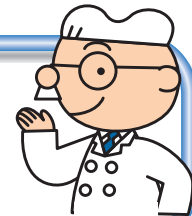
● 駅からの距離が4km以上
 になると、自動車の利用
 が徐々に多くなっていま
 す。

※距離は交通手段別の平均速度を用いて所要時間から換算しています。



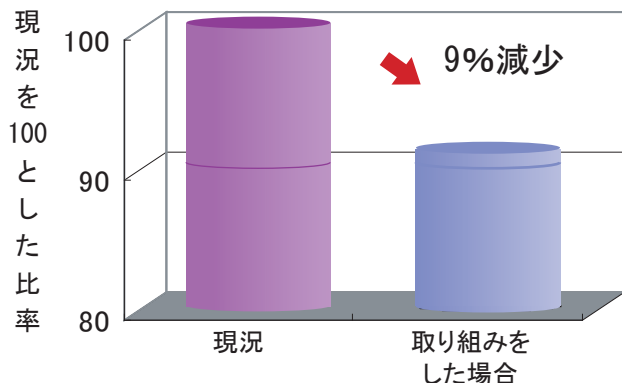
もしみんながもっとバス
を使うようになったら
どうなるのかしら？

交通シミュレーションモデル
を使ってその効果を試みる
としよう!!

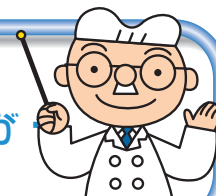


● 今まで自動車を利用していた人の10%の人が自動車をやめて、バスや鉄道を使ったとしたら・・・

年間二酸化炭素排出量(自動車分)の変化



年間二酸化炭素排出量が・
約9%減少し、環境への影響が
小さくなるのじゃ!!



※二酸化炭素排出量は、自動車によるもののみです。*

※上記は、交通シミュレーションモデルによるシミュレーション結果です。
大型トラックなどからの転換は想定していません。

新しいバスのかたち、コミュニティバス



中小型の車両を使って住宅地などの狭い道路も運行するバスで、バスの不便地域を走行したり、高齢者や小さな子供連れの方が気軽に外出できるようにするのがコミュニティバスです。

渋滞知らず、ガイドウェイバス



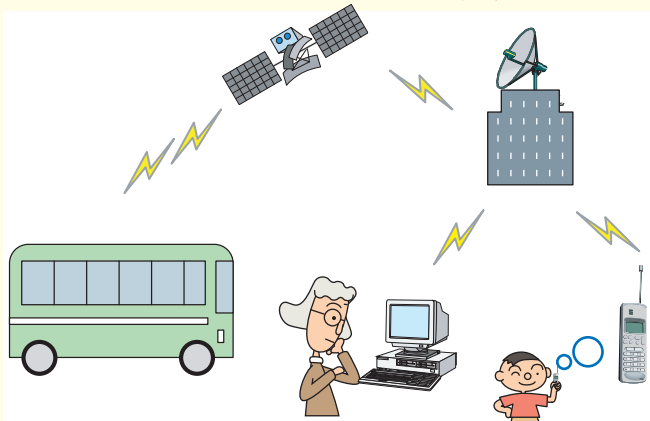
同一車両で、都心部は道路の中央分離帯上に設けた高架専用軌道を走行し、郊外は一般道路を走行します。定時性・高速性などのメリットがあります。

人にやさしい、ノンステップバス



ノンステップバスはお年寄りや身体の不自由な方や子供にも楽に乗り降りができるよう従来のバスより乗降口を低く広くし、車イスでも楽に乗降できるバスです。

走行中のバスの位置がわかる、バスロケ



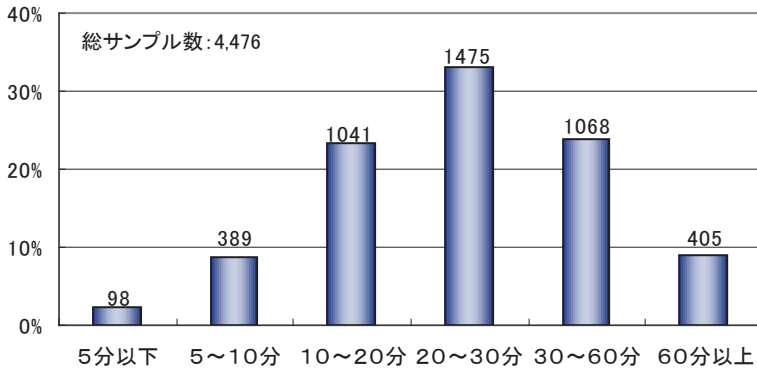
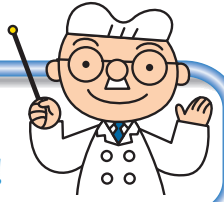
バスロケ(バスロケーションシステム)とは、道路を走行中のバスの位置情報、到着時刻をインターネット対応携帯電話や自宅等のパソコンでリアルタイムに見ることができるITを活用した新しいシステムです。

②短距離移動での自転車利用の促進



みんなは自転車でどのくらいの距離を移動できるのかしら？

個人意識調査の結果では、5km位までとなっております!!



個人意識調査(H10): 苦痛なく自転車に乗っていただける時間

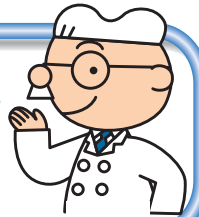
● 個人意識調査の結果では、苦痛なく自転車に乗っていただける時間は、20~30分までが最も多くなっています。・

● 自転車の平均速度を時速12kmとすると、20~30分は5km程度、10~20分は3km程度になります。



どのくらいの人たちが自動車から自転車へ変りやすいのかしら？

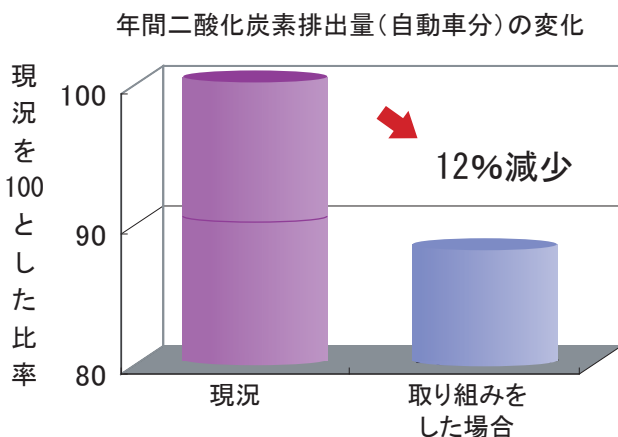
自動車を使った荷物のない短距離移動は940万トリップもあるのじゃ!!



● 荷物を持たない5km以下の自動車の移動は、都市圏全体で940万トリップ存在します。これは、全自動車利用のトリップの37%にも相当します。・



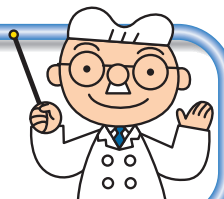
● 荷物を持たず5km以下の距離を自動車で移動していた人が、全員自動車を使わずに自転車や徒歩で移動するようになったとすると・・・



※二酸化炭素排出量は、自動車によるもののみです。・

※上記は、交通シミュレーションモデルによるシミュレーション結果です。

年間二酸化炭素排出量が約12%減少し、環境への影響が小さくなるのじゃ!!



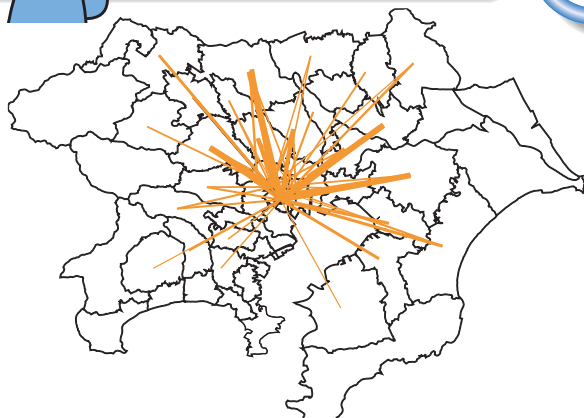
健康にもいいわね!!

③パークアンドライドの推進



パークアンドライド
って何かな？

駅の近くの駐車場に自動車をとめて、
鉄道などの公共交通に乗り換えて都心
まで行くことをいうのじゃ!!



東京区部へのパークアンドライド利用トリップ

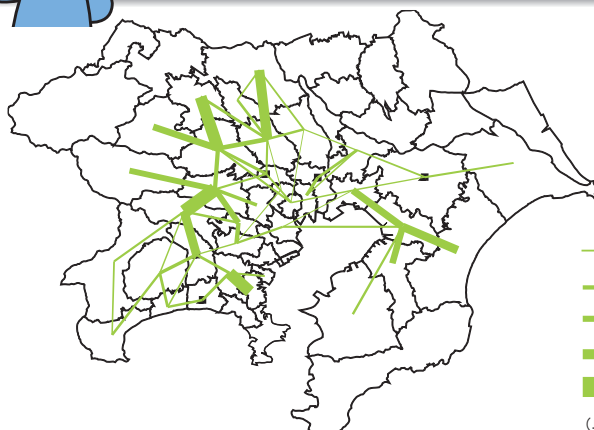
●東京都市圏では、約17万人がパークアンドライドを利用しています。

●そのうち、東京区部へは約7万人がパークアンドライドを利用して通勤しています。



パークアンドライドってどんな
ところで利用しやすいのだろう？

自動車利用からパークアンド
ライドへ転換しやすい人は
都市圏全体に存在するのじゃ!!

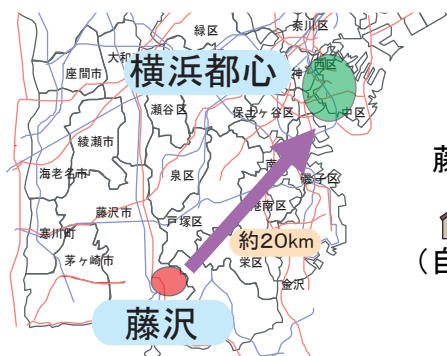


パークアンドライドの方が自動車より
所要時間が短い地域間の分布

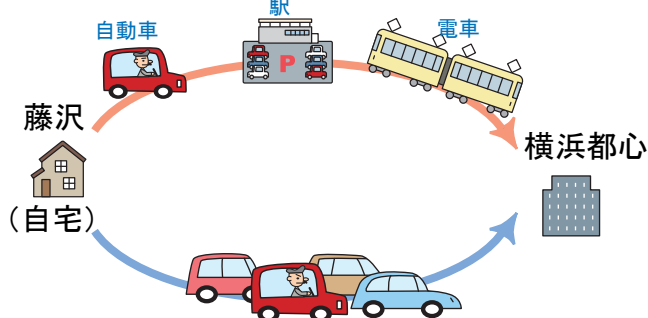
●自動車だけを利用した場合よりパークアンドライドの方が所要時間が短い地域間をみると、千葉、さいたま、立川・八王子、横浜といった業務核都市間で多くみられ、このような地域ではパークアンドライドの推進効果が期待できると考えられます。*

●例えば横浜都心まで、パークアンドライドの場合の所要時間と、自動車だけを利用した場合とを比較してみると・・・

○横浜都心までの所要時間は？



パークアンドライドの場合：54分



自動車だけを利用した場合：82分

自動車より
パークアンド
ライドの方が早い
地域もあるのじゃ!!
環境にもやさしい
良いことじゃな!!



「パーソントリップ調査とは」

パーソントリップ調査でわかること

★くらしと交通の問題を考えるには、まず、人々の1日の生活の中での移動の実態を的確に把握することが必要です。

★「パーソントリップ調査」は、そのような人々の生活と移動の実態を総合的に把握できる唯一の調査です。

★「パーソントリップ調査」の結果をうけて、交通問題の分析やまちづくり・交通政策の提言を行っています。

どのような人がどこからどこへどのような目的で動いているか



どのような交通機関が利用されているか



用語についての解説

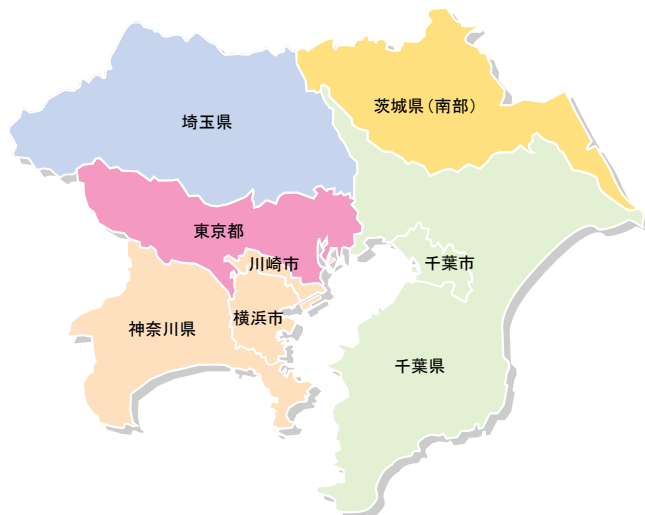
- ・トリップ : 人がある目的をもってある地点からある地点へ移動する単位を「トリップ」といい、1回の移動でいくつかの交通手段を乗り換えても1トリップといいます。
- ・トリップエンド : 1人1人の移動を「トリップ」というのに対し、1つのトリップの出発地側と到着地側をそれぞれ「トリップエンド」といいます。
- ・発生集中量 : ある地域内に出発地または到着地を持つ人の移動の合計で、「トリップエンド」を集計したものをいいます。
- ・代表交通手段 : 1つのトリップがいくつかの交通手段で成り立っているとき、このトリップで利用した主な交通手段を「代表交通手段」といいます。主な交通手段の集計上の優先順位は、鉄道→バス→自動車→二輪車→徒歩の順となっています。
- ・パークアンドライド : 都心部の道路混雑を緩和するため、自動車を都市郊外の駐車場に止めて鉄道等の公共交通に乗り換え、都心部にあるいは特定地域に入る形態のことをいいます。

編集後記

約1年ぶりの発行となりました。今回は「自動車からの転換～バス、自転車を使えばもっと楽しい～」をテーマとしましたが、いかがだったでしょうか？ 次号も引き続きご期待下さい。

「東京都市圏交通計画協議会」とは……

わたしたち「東京都市圏交通計画協議会」は、日本ではじめて複数の都県市関係機関がお互いに協力・調整しあって、広域的な交通問題に関する調査・研究を行う組織として、1968年(昭和43年)に発足し(当時は東京都市群交通計画委員会)、30年以上にわたって活動しています。



問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局	茨城県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
企画部 広域計画課	土木部 都市局都市計画課	県土整備部 都市計画課	都市部 都市政策課	都市計画局 都市基盤部交通企画課	県土整備部 都市計画課交通企画班
TEL 048-600-1330 FAX 048-600-1373	TEL 029-301-4588 FAX 029-301-4599	TEL 048-830-5343 FAX 048-830-4881	TEL 043-223-3166 FAX 043-225-4012	TEL 03-5388-3283 FAX 03-5388-1354	TEL 045-210-6182 FAX 045-210-8879
横浜市	川崎市	千葉市	都市基盤 整備公社	日本道路公団	首都高速道路公団
企画局企画調整部 総合交通計画課	まちづくり局計画部 交通計画課	都市局都市部 都市計画課	都市整備部 事業計画課	東京建設局 建設第一部企画調査課	計画部 調査課
TEL 045-671-4086 FAX 045-662-7362	TEL 044-200-2034 FAX 044-200-3967	TEL 043-245-5306 FAX 043-245-5627	TEL 03-3263-8392 FAX 03-3263-8188	TEL 03-5418-2001 FAX 03-5418-2050	TEL 03-3539-9408 FAX 03-3502-2412

★ご意見・ご感想をお寄せください。

東京都市圏交通計画協議会

ホームページアドレス <http://www.iijnet.or.jp/tokyoopt/>